

交通事故のない社会の実現へ 町交通安全推進大会

平成28年度町交通安全推進大会が12月2日、役場会議室で開かれました。大会には交通安全関係者ら約100人が参加。また大会では、次の交通安全の表彰が行われました。
【町交通安全功労表彰】▷鈴木庄蔵さん(12区)▷青山慶年さん(14区)
【行政区対抗交通安全コンクール前期の部】▷1位=1区▷2位=19区▷3位=2区【同後期の部】▷1位=1区▷2位=19区▷3位=2区



防犯灯10基を町に寄贈 防犯灯寄贈式

11月18日、東北電力株式会社一関営業所の須田欣也所長と株式会社ユアテック一関営業所の小原伸良所長が役場を訪れ、青木町長にLED(発光ダイオード)防犯灯10基と取り付け工事一式を寄贈する目録を手渡しました。
この寄贈は、同2社が地域社会の明るい町づくりに向けた取り組みを支援することを目的に定期的実施。青木町長は「寄贈された防犯灯は地域から要望がある箇所に設置し、明るく住みよい地域づくりに活用したい」と感謝しました。



元気にきね振り「よいしょ！」 園児と商工会青年部が餅つき

12月9日、平泉商工会青年部(阿部茂幸部長)が町立幼稚園と平泉、長島両保育所を訪れ、餅つきを行いました。
この日は、同青年部員15人が平泉と長島二手に分かれて、園児と一緒に餅つきを楽しみ、地域の伝統文化を伝えました。園児たちは部員と一緒にきねを持って「よいしょ!」「よいしょ!」と元気な掛け声とともに、代わる代わる白い餅を力いっぱいつき上げていました。つき上がった餅は、あんこ餅などにしてみんなでおいしく食べました。

女性が活躍できる社会を目指す 町地域婦人団体協議会創立60周年記念大会



11月27日、町地域婦人団体協議会(千葉照子会長)の創立60周年記念大会が平泉ホテル武蔵坊で開かれ、約250人が出席しました。
千葉会長は式辞で、これまでの活動を踏まえ、女性の地位向上の必要性に言及し「組織力を生かした笑顔で前向きな活動ができる婦人会にしたい」とあいさつしました。
席上、この10年間に会長を務めた会員2人を表彰し、理事など役員を務めた会員8人に感謝状を贈りました。

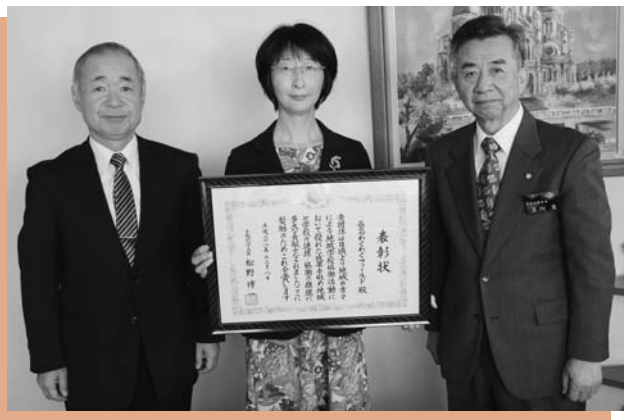
収穫したコメを中尊寺へ奉納 骨寺村荘園中尊寺米納め

一関市巖美町本寺地区で収穫した新米を中尊寺に奉納する「骨寺村荘園中尊寺米納め」(本寺地区地域づくり推進協議会)が12月11日に行われ、同地区民や本寺中学校生徒ら97人が参加し、役場庁舎前で出発式が開かれました。
同地区は奥州藤原氏が平泉を治めていた平安末期、「骨寺村荘園」として中尊寺の経蔵別当領とされた歴史に関わりのある地。参加者は、雪が降り積もる中、行列をつくって新米を運び、伝統継承への誓いを新たにしていました。



浅利章市さんに瑞宝単光章 【叙勲】消防功労

平成28年秋の叙勲で、当町から元町消防団第8分団長の浅利章市さん(18区)が瑞宝単光章を受章しました。
浅利さんは、昭和38年に町消防団に入団以来、平成17年3月に退団するまで42年にわたり、火災や災害などに出勤するとともに、火災予防の普及啓発に尽力されました。
第8分団長として若手団員の確保に奔走するとともに、消防屯所の移転整備など消防防災活動体制の充実に貢献されました。



文部科学大臣表彰を受賞 長島わくわくフィールド

長島小学校の「長島わくわくフィールド」が、平成28年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰を受賞し、12月8日に文部科学省で開催された表彰式に代表者が出席して、表彰状を受賞しました。
平成16年から始まった同活動は、放課後の子どもの居場所づくりとしてスタートし、地域ボランティアの協力を得ながら、子どもたちの健全育成と地域と学校をつなぐ場として長年運営され、その功績が認められての今回の受賞となりました。



町農業のあるべき姿に向けて意見交換 町農政推進に係る農業者との懇談会

12月1日、役場で平成28年度町農政推進に係る農業者との懇談会が開かれました。懇談会には農林畜産業、農産加工、産直などの農業者関係者23人、町や県、農協など関係機関・団体の代表者13人が出席しました。
懇談会では、町農業の現状や課題について話し合い、農業の担い手不足の問題や若者が農業をしたいと思う魅力的な施策の検討を求める意見が出されるなど、今後の町農業のあるべき姿に向けて活発な意見交換が行われました。